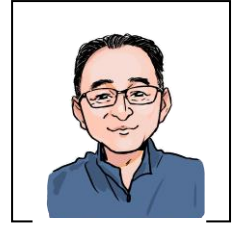


SDGs 誰かのためにできることを

SDGs × 福田中 = ∞ (無限の可能性)



始業式から10日が過ぎました。校庭のつじが色とりどりに咲き始め、新緑を感じる今日この頃です。始業式から新たに4名の職員、入学式で新入生55名を迎え、今年度の福田中学校の教育活動がスタートしました。全校生徒172名（1年生55名、2年生63名、3年生54名）

福田中学校に脈々と受け継がれる伝統を大切にしながら、生徒の良さを更に伸ばし、地域や社会に貢献できる生徒の育成をめざします。今年度も保護者や地域の皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。以下に私が始業式にて生徒に宛てたメッセージを紹介します。

令和6年度始業式の式辞（抜粋）

（学校便りのタイトルに込めた願いについて語る）

昨年に引き続き、福田中学校の学校教育目標は、『心豊かでたくましく、自他を尊び、地域・社会に貢献できる生徒の育成』ですが、その実現のためのスローガンを『SDGs 誰かのためにできることを』にしたことです。

みなさんは、SDGsについてどのくらい知っていますか、そして、どんなことに取り組んでいますか。

福田中学校の生徒は、PV活動として積極的に資源物を回収し、換金して寄付を続けており、地域に根ざした活動になっていると聞きました。

SDGsとは、地球の環境や人々の人権や暮らしを守るために、17のゴールでつくられた持続可能な開発目標のことです。

SDGsについて学び、行動することによって少しずつ、自分自身が変わっていくことに気づくと思います。ここでは5つの変化をあげてみます。

- ①自分ができる小さな取組で、気持ちが前向きになれること。
- ②世界的な視野で考えることができるようになり、自分の取組に意味や価値を見出すことができること。
- ③持続可能な社会、持続可能な環境、持続可能な経済にするにはどうしたらいいか考えることにより、発想力が豊かになること。
- ④若い人の取組や発信力が、地域を元気にし、地域を動かす原動力になること。
- ⑤立場が弱い人や、環境や自然にやさしくなれること。
があげられると思います。

SDGsを一言で表すと、『誰かのためにできることを』という意味になると考えています。思いやりが1番のSDGsなのです。

『誰かのためにできることを』を学級の中で、学校の中で、部活動の中で、家庭の中で、地域の中で、できるところから始めて、継続してほしいと思います。そうすると、いじめや差別、トラブルがなくなり、笑顔が増えていきます。君たちがこの1年間、どのように成長するか楽しみにしています。



<令和6年度、福田中学校の職員です> どうぞ、よろしくお願ひします。

職 員 一 覧				
第1学年 主任 川原 祥 (数学)・学年所属 佐々野 一弘 (技術科)				
クラス	1年1組	1年2組	4組	5組
担任	亀山昭浩(社会)	太田 晶子 (英語)	森崎 岩男 (社会)	田中 由美子 (国語)
第2学年 主任 一瀬 秀明 (音楽)・学年所属 谷坂 利浩(理科)				
クラス	2年1組	2年2組	4組	5組
担任	池田 智子(英語)	高以末 友美(保体)	森崎 岩男(社会)	田中 由美子(国語)
第3学年 主任 熊丸 直樹(国語)・学年所属 橋本 貴紀(理科)				
クラス	3年1組		3年2組	
担任	小坂 樹希(保体)		川崎 仁実(家庭科)	
その他 教職員				
校長(保体)	高田 浩一		事務職員	宮崎 敏幸
教頭(数学)	大林 英夫		庁務員	中野 康治
教務主任	橋本 貴紀		ALT	マシュー ライマー ランヴィル
教諭(美術)	井筒 麻紀		図書館司書	狩野 元子
養護教諭	菅原 静子		購買部	柴山 敦子
スクール カウンセラー	岩佐 俊輔		給食配膳員	飛永 花月